

令和7年度

とうきょうすくわくプログラム活動報告書（2歳児クラス）

施設名	蒲田音楽学園第Ⅱ保育園
施設所在地	大田区西蒲田 4-11-5
法人名	社会福祉法人扶社会

1. 活動テーマ

〈テーマ〉

「自然との関わり」散歩をした時に季節の植物や生き物に触れることにより、子どもが気づいたり発見したり、興味を広げて楽しむ。

〈テーマの設定理由〉

保育園近くの遊歩道や公園で、季節の花や葉っぱ、虫などの生き物に興味をもっているため。そこから調べて知識を得たり、発見を記録として残したりし、探求心をもちながら楽しむため。

2. 活動スケジュール

- ①遊歩道や公園で植物に興味をもち観察をする。
- ②iPhoneで写真を撮り、花や生き物の名称、生態などを調べる。
- ③落ち葉や花紙、折り紙などを使い、製作活動に繋げて表現する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

iPhoneで撮ってきた梅の木の写真、花紙（桃色）、梅の木を描いた模造紙、花を貼る為の両面テープ

4. 探求活動の実践

〈活動の内容〉

- ① 散歩の途中で春の植物に興味を持ち、近くで観察したり、触れたりしながら特徴に気づいた。
- ② iPhone を使って気になった植物の名前や特徴を調べ、実物と見比べながら理解を深めた。
- ③ 観察した梅の花を思い出しながら、花紙で花を作り貼って花を表現し、友だちと協力して共同制作を楽しんだ。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

- ① 散歩中に見つけた植物に興味を持ち、保育者や友だちに知らせながら近づいて観察する姿が見られた。
- ② iPhone で調べた情報をもとに、「同じかな」「色が違うね」などと見比べ、友だちと考えを共有しながら関心を深めていた。
- ③ 観察により「木にゼリーみたいなのがあるね。」と新しく発見したことを伝え合い、触れて感触を確かめたり、iPhone でそれが何であるかを調べたり、周囲の植物にも同じようなものがないか探索を広げたりする様子が見られた。



5. 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

実際に見た梅の花をきっかけに、子どもたちが自ら植物に興味を持ち、散歩で気になった花の名前を調べたり、観察した花を表現したりと活動が自然に広がっていく様子が見られた。自然物に触れる経験が探求心を引き出し、学びへの意欲につながることを改めて感じた。

また、共同制作では、友だちと相談したり互いの表現を受け入れたりしながら、一つの作品を作り上げる姿があり、共同的な学びの大切さにも気づいた。今後も子どもたちに気づきや発見を出発点とし、主体的に関わることが出来る環境を整えていきたい。